

様式

技術名称	衛星SARを用いたインフラメンテナンス技術の紹介	技術の分類	調査	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無し
会社名等	基礎地盤コンサルタンツ(株)	担当者	吉川 猛	連絡先	03-6861-8876
技術の概要	衛星SARを活用して港湾施設の維持管理を効率的に進める手法を紹介する。衛星SARは、対象とする港湾施設を広域に観測することが可能であり、定期的な観測データを整理することにより、目視点検では捉えることができない変状エリア(箇所)の抽出を行い、詳細点検箇所を優先的に決定することができる。	対象者	☒ 国土交通省職員 ☒ 港湾管理者 ☒ 一般(施工業者・コンサルタント等含む)		
		添付資料	パンフの有無		
			その他の資料		
技術の特徴	・だいち2号(日本の現行SAR衛星)の観測範囲は70km×50km程度 ・だいち2号(日本の現行SAR衛星)の観測は年4回程度 ・干渉SAR解析により地表面変動を算出する ・だいち2号(日本の現行SAR衛星)は2015年から観測を続けており、現在まで観測データが蓄積されている。 ・したがって、過去に遡って変位を調べることができる。	その他	・解析は、例えば10m×10mのグリッドを設定し、その面の地表面変動を算出する。よって、点の情報である測量結果とは厳密には整合しない。 ・だいち4号(後継衛星)の観測範囲は幅200kmに拡大。 ・だいち4号(後継衛星)の観測は2週に1回に増加。 ・だいち4号(後継衛星)の観測データは2025年ごろから販売される見込み。		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。